

第七回

龍門之會

金剛龍謹能の会

能

善知鳥

うとう



平成30年 6月10日(日)
午後1時30分開演 午後1時開場

会場 金剛能楽堂 〒602-0912
京都市上京区烏丸通中立売上ル
TEL(075)441-7222 FAX(075)451-1008

【全席自由】 会員券 5000円 一般券 5500円 学生券 3000円

<http://www.kongou-net.com/ryumonnoikai/>

◆公演に関するお問合せは金剛能楽堂まで

第七回 龍門之会

平成三十年六月十日(日) 午後一時三十分始

於 金剛能樂堂

仕舞

氷室 山田伊純
山 姥 宇高通成
須磨源氏 今井克紀

地謡
向井弘記
廣田幸稔
種田道一
宇高竜成

狂言

伯母ヶ酒

野村又三郎

松田高義

後見 伊藤 泰

休憩

仕舞

飛鳥川 金剛永謹

地謡

惣明貞助
豊嶋幸洋
宇高通成
豊嶋晃嗣

能

善知鳥

廣田明幸
宇高德成
金剛龍謹

岡 充

間 野村信朗

守家由訓
曾和鼓堂
左鴻泰弘

後見

金剛永謹
廣田幸稔
豊嶋幸洋

地謡

惣明貞助
宇高竜成
豊嶋晃嗣
山田伊純
今井克紀
宇高通成
松野恭憲
種田道一

附祝言

主催

龍門之会

後援

公益財団法人
金剛能樂堂財団

善知鳥

あらすじ

旅の僧が陸奥国外の浜への道中、立山の麓で一人の老人に呼び止められる。老人は昨年死んだ外の浜の狐師の亡者であり、形見を妻子に届け蓑笠を叩いてほしいと頼み、証拠にと臨終まで着ていた衣の片袖を僧に託す。僧は出会った老人の家を訪れ、妻子に老人の言葉を取り出して託された片袖を渡す。驚いた妻は亡き夫の形見の衣を取り出してみると片袖はびつたりと合った。蓑笠を手向け故人を叩くと、やつれ果てた狐師の霊が妻子の前に現れ、我が子の傍に寄り添うとするが雲が二人の間を隔てて近寄れない。狐師は、後世を考えず殺生に熱中したわが身を嘆き、親鳥が「うとう」と呼ぶと子鳥が「やすかた」と答える善知鳥の習性を利用した残酷な狐を再現し、さらに化鳥となった善知鳥に地獄の責め苦を受ける有様を見せ、僧に救いを求めて消え失せたのであった。



金剛龍謹

能楽金剛流若宗家
公益財団法人金剛能樂堂財団 理事
京都市立芸術大学 非常勤講師

プロフィール

1988年、二十六世宗家金剛永謹の長男として京都に生まれる。幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛殿に師事。五歳で仕舞「狸々」にて初舞台、これまでに「鶯」「石橋」「翁」「乱」「道成寺」「望月」「安宅」を披く。同志社大学文学部卒業。2014年より自身の演能会「龍門之会」主宰。全国の学校での巡回公演など学生への普及活動、またスペイン、ポルトガル、ロシア、イタリヤなど国内だけでなく海外公演にも参加している。

http://www.kongou-net.com/ryumonhakai/

金剛龍謹能の会「龍門之会」入会のご案内

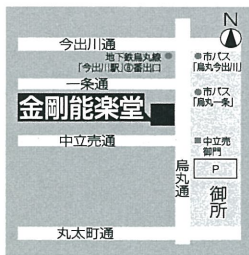
龍門之会にご入会いただきますと、年1回の「龍門之会」のご案内および金剛能樂堂出演の観能会のご案内をさせていただきます。また、特典として「龍門之会」のチケットを1枚を進呈させていただきます。

◆年会費 5,000円

◆入会方法 お問い合わせ先へ「龍門之会」の入会の旨とお名前、住所、連絡先をお伝えください

金剛能樂堂

〒602-0912
京都市上京区烏丸通中立売上ル
☎075-441-7222



第七回 金剛龍謹能の会 龍門之会 FAXお申し込み書

FAX番号 075-451-1008

お名前

お電話・FAX

ご住所 〒

□会員券(1口 5,000円) 枚 □一般券(5,500円) 枚 □学生券(3,000円) 枚

〈お申込み後、観能券を郵送させていただきます。お問い合わせは金剛能樂堂まで〉